

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 国際拠点港湾 広島港 江波地区 港湾海岸保全施設整備事業に伴う
地質調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名				R5-Bor.No.10				調査位置				広島市中区江波沖町地内								北緯		34° 21' 35.7500"																	
発注機関				広島県広島港湾振興事務所								調査期間				令和5年 7月13日～ 令和5年 7月20日								東経		132° 25' 25.1000"													
調査業者名								主任技師								現 場 人								コ 鑑 定 者								ボーリング責任者							
孔口標高				TP 2.61m				<div>角</div> <div><div>180°</div><div>上</div><div>下</div><div>90°</div></div>				<div>方</div> <div><div>北</div><div>0°</div><div>270°</div><div>西</div><div>180°</div><div>南</div><div>90°</div><div>東</div></div>				<div>地盤勾配</div> <div><div>0°</div><div>鉛 直</div><div>90°</div></div>				<div>使用機種</div> <div>試錐機</div> <td colspan="8">(株)東邦製D1-C型</td>				(株)東邦製D1-C型															
総削孔長				38.00m				<div>度</div>				<div>向</div>												エンジン				ヤンマー TF120M				ポンプ				(株)ヤンマー製BG-3C型			

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現地土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試料採取			室内試験	削孔月日							
											深度—N値図						N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数				打撃(1)の貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号	採取方法	
											0	10	20	30	40	50			60	〇									100
1		0.81	1.80	礫混じり砂質土	褐灰	rd3			細～中砂を主体とする。 Φ10～30mm程度の垂角礫が混入している。 細粒分を若干含む。	7/18 1.40	27	1.15	9	9	9	27	300	1.15	P-10-	○	物理一式		7/13						
2		-0.09	2.70	礫混じり砂	暗灰	rd3			粗砂を主体とする。 Φ20～30mm程度の垂円礫が混入する。 含水比は高い。 GL-1.80m付近から逸水している。 細砂～中砂を主体とする。	7/19 2.40	13	2.15	5	3	5	13	300	2.15	P-10-	○	物理一式								
3				礫混じり砂質土	暗灰	rd3			Φ20～30mm程度の垂角礫が混入する。 細粒分を若干含む		36	3.15	13	14	9	36	300	2.43	P-10-	○	物理一式								
4		-2.19	4.80								8	3.45						3.45	P-10-	○	物理一式								
5									粗砂を主体とする。 Φ20～30mm程度の垂角礫が混入する。		4	4.15	4	2	2	8	300	4.15	P-10-	○	物理一式								
6				礫混じりシルト質砂	暗灰	rd2			所々にシルトを挟む。		4	4.45						4.45	P-10-	○	物理一式								
7		-4.94	7.60								4	5.15	2	1	1	4	300	5.15	P-10-	○	物理一式								
8		-6.34	9.00	砂	暗灰	rd2			細砂を主体とする。 部分的シルトを挟む。		6	5.45						5.45	P-10-	○	物理一式								
9											4	6.15	2	2		4	300	6.15	P-10-	○	物理一式								
10		-8.19	10.80	シルト混じり砂	暗灰	rd2			細砂を主体とする。 所々にシルト層を挟む。		6	6.45						6.45	P-10-	○	物理一式								
11									均一なシルトを主体とする。 GL-12.0m付近では細砂が混入しており、シンワールサンプルの一部が落下する。		6	7.15	1	2	2	5	300	7.15	P-10-	○	物理一式								
12											6	7.45						7.45	P-10-	○	物理一式								
13											6	8.15	1	2	3	6	300	8.15	P-10-	○	物理一式								
14											6	8.45						8.45	P-10-	○	物理一式								
15											6	9.15	2	2	2	6	300	9.15	P-10-	○	物理一式								
16											8	9.45						9.45	P-10-	○	物理一式								
17											3	10.15	2	3	3	8	300	10.15	P-10-	○	物理一式								
18											3	10.45						10.45	P-10-	○	物理一式								
19											3	11.15	1	1	1	3	300	11.15	P-10-	○	物理一式								
20		-17.39	20.00									11.45						11.45	T-10-	①	物理一式 湿潤一軸圧密								
21																		12.00	T-10-	①	物理一式 湿潤一軸圧密								
22																		12.80	T-10-	①	物理一式 湿潤一軸圧密								
23																		14.00	T-10-	②	物理一式 湿潤一軸圧密								
24																		14.80	T-10-	②	物理一式 湿潤一軸圧密								
25																		16.00	T-10-	③	物理一式 湿潤一軸圧密								
26																		16.80											
27																		18.00	T-10-	④	物理一式 湿潤一軸圧密								
28																		18.80											
29																		20.00	T-10-	⑤	物理一式 湿潤一軸圧密								
30																		20.80											
31																		22.00	T-10-	⑥	物理一式 湿潤一軸圧密								
32																		22.80											
33																		24.00	T-10-	⑦	物理一式 湿潤一軸圧密								
34																													
35																													
36																													
37																													
38																													
39																													
40																													
41																													
42																													
43																													
44																													
45																													
46																													
47																													
48																													
49																</													

